

会 議 録

会議の名称	令和7年度 第3回坂戸市立図書館協議会
開催日時	令和8年1月28日(水) 午後3時30分 開会 午後4時43分 閉会
開催場所	坂戸市立中央図書館 2階 視聴覚室
議長(委員長・会長)の氏名	委員長 石橋 妙子
出席者(委員)の氏名・出席者数	新井 紀子 石橋 妙子 高山 かつ子 鴨 由美 貝瀬 由己子 関口 千登世 高橋 好次郎 熊谷 千佳子 8名
欠席者(委員)の氏名・欠席者数	市川 なお美 1名
事務局職員の職・氏名	館長 小林 幸子 課長補佐 植木 昌美 係長 前田 博美 係長 久保 彰子 4名
会議次第	1 開会 2 委員長挨拶 3 報告事項 (1) 令和7年度第3四半期利用状況について (2) 令和7年度第3四半期実施事業報告について (3) 令和7年度第4四半期実施予定事業について 4 その他 5 閉会
配布資料	<p>【事前配布】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度第3回坂戸市立図書館協議会次第 ・令和7年度第3回坂戸市立図書館協議会資料 ・令和7年度第3回坂戸市立図書館協議会資料の概要 <p>【当日配付】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども読書推進計画資料 ・図書館だより 第214号 ・教養講座 出版社ってこんなところ ここだけ話と自慢なところ

会 議 録

議 事 の 経 過	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
発 言 者	
事務局	1 開会 出席者 8 名。図書館協議会運営規則第 4 条第 1 項の規定により、会議の成立を報告する。
委員長	2 挨拶
熊谷委員	挨拶
委員長	3 報告事項 (1) 令和 7 年度第 3 四半期利用状況について
事務局	事務局説明
委員長	意見、質問を求める。
委員	電子図書、第 2 四半期から利用が 51.1%と減少しているが、理由はあるか。
事務局	現在新しい図書を選書中であるため減少していると推測される。
委員長	(2) 令和 7 年度第 3 四半期実施事業報告について
事務局	事務局説明
委員長	意見、質問を求める。
委員長	調べる学習コンクール、今回色々な賞をいただいている。
事務局	今年度も城西大学の学生にご協力をいただき、講座に申込みをいただき進めることができた。
委員長	(3) 令和 7 年度第 4 四半期実施予定事業について
事務局	事務局説明

委員長	意見、質問を求める。
委員	はたこうしろう氏の講座はもう定員になっているのか。
事務局	ありがたいことに定員に達している。協議会の皆様につきましては、ご希望があれば受付させていただくので、お声がけいただきたい。
委員長	職員出前講座の依頼は包括支援センターか。
事務局	講座については包括支援センター等で社会教育課を通じての依頼となる。児童センターからも依頼が来ている。
委員長	(4) その他について 委員から何かあるか。
委員	<p>・城西大学水田記念館図書館報 Book Mark 2026.1 vol.188 1 ページ目左下で紹介しているが、「ゲーミング図書館アワード2025」で、当館で作成した作品がデジタルゲームの優秀賞を受賞したのでご報告させていただいた。</p> <p>詳しくは見開きページで紹介しているが、図書館クエストは、この間の調べる学習コンクールの講座の時も体験していただいたが、当館の9階建ての図書館を全部再現してゲームの中でそれぞれ行ける様になっている。</p> <p>作り上げたのはコロナの時に、学生達が全員オンライン授業を受けていて、特に1年生はオンライン授業のみで図書館のことを知らないのは良くないということで、ゲームの中でレポート作成等体験できるようにした。どなたでも図書館ホームページから入ることができる。ゲームを通して学生同士が仲良くなったということ先生から聞いている。</p> <p>また、ライブラリーラウンジでは、ボードゲームイベントを紹介しており、大盛況であった。コミュニケーション能力やチームワークを作ることに繋がっている。</p> <p>裏表紙では、授業の中で、地域の方も参加していただく授業を行っていて、地域の方とグループワークを行っている。大学も地域連携で地域の皆様に支えられながら、学生達も地域の課題解決を学べるような授業や、図書館を経由しながら座学だけではない体験型の授業が増えている。</p>
副委員長	<p>図書館の利用者数について、高齢化とか人の数が減っているのがかなり響いているのではないか。</p> <p>年代が上になるに連れ本を読む数が減り、本を読む体力もなくなっている。右肩上がりの昭和50年代の坂戸市とは違って、あらゆる物が下がってきている。現象の範囲は許容範囲なのではないか。数字だけではなく社</p>

	<p>会現象として見ていく必要がある。</p>
委員	<p>登録者数は同じだが、貸出数が減っている。</p>
委員	<p>図書館で色々な事業をされていて、本を貸し出すだけではないということ。コミュニティの場としての利用、活用がある。コミュニティが、若い人も来るきっかけとなる。</p>
委員	<p>そのきっかけで、本を借りていくことにも繋がる。 芥川賞、直木賞の受賞の本を見ても、高齢者向けでなくなっている。 若い世代が利用するような図書館である必要がある。</p>
委員	<p>海外の学校、学校にもよるが、図書室で授業をしたり、カウンセラー的なことに利用したりしている。学校の図書室も多角的に事業を進めていくとよい。</p>
委員長	<p>秋の図書館まつりに参加し、太田教育長と話をした。色々な話をしながら、図書館だけの機能ではなく色々広がっているという話しになった。</p>
委員長	<p>おりがみ教室は、女性が多いのか。</p>
委員	<p>この頃は小さい子を連れてお父様も大分来てくれるようになった。また、ボランティアで来ている方のお孫さんが手伝ってくれたこともあり、お父様方が「やってみると楽しいね」と言ってくれるので、そのようなコミュニケーションができればまた違ってくるのではないかと思う。</p>
委員	<p>図書委員をしている子どものアイデアが一番こどもに響く。 図書委員会の中でも図書委員長、副委員長が色々なアイデアを出して掲示物の作成や放送等行っている。その中でも驚いたのが、給食の時間のお昼の放送で、流行の歌とかではなく、図書委員会の発案で、日本昔ばなしの音声で「カチカチ山」を流した。今の子ども達には新鮮で、出会ったことのない昔話に出会えるように、音からでもいいから投げかけてみる、子どもの発想が子どもに近くて、低学年の子ども達に図書室に足を運んでもらおうという発想が活きていて、とても良いと思った。</p>
委員	<p>学生が展示した本が一番早く借りられ、一番人気がある。</p>
委員	<p>図書の選定を図書委員の子どもにお願いしている。今までは先生や図書の支援員さんに相談しながら行っていたが、図書委員の特権で好きな本を1冊選んでもらい、とても喜んでいて、今時の本が並ぶので、人気もある</p>

委員	<p>し、子ども達に選んでもらうのはとても良い。 今の子ども達は情報量がすごく発想も豊かである。</p> <p>読み聞かせで途中まで読んで続きがどうなる、といった紹介をする手法もとても効果があった。3年生の国語の教科書に掲載されているような物語も、1、2年生にとっては新鮮なので、5、6年生が読んでいるようなものばかりではなく、3、4年生が一生懸命音読の練習をして、それを低学年の子ども達に読み聞かせることも良いことだと思った。</p> <p>また、坂戸市親善大使の梶裕貴氏がとても人気であるが、彼が小学生の時に2年間担任した。記憶によれば、彼は音読が本当に上手であった。長く教員を務めてきたが、「がまくんとかえるくん」の声色を変えて読めた1年生は彼が初めてであった。保護者の方に見ていただく授業の時は、必ず最後は彼に読んでもらっていた。そこで「プロになったらいいんじゃない」という話を彼にしたことをお母様が覚えていらして、プロデビューする時に、「本当にプロになることになりました。」というお手紙をいただいた。せっかく坂戸市とご縁が出来て、彼は読むことが上手なので、「続きは自分で読んでね」等、声だけでもいいし、動画でもいい。梶氏に来てもらいたいという要望が子ども達からあるが予算のこともある。時々市役所にはいらしているようで本が好きなはずなので、市政施行50周年ということで、図書館で何かイベントを考えてみたらどうか。単独だと費用がかかるようであるが、市の取り組みの一環として、図書館として、本好きの子を増やせるようなイベントができないか。</p>
委員長	<p>図書館でも子どもに読み聞かせをした事業報告があったが。</p>
事務局	<p>学校の読書活動支援員にご協力いただき、読み聞かせをしてくれる子どもを募集した。当日すぐに読み聞かせを行うのは厳しいので、事前に練習日を設けて、プログラムの組み方や読むときの体勢等練習をし、最終打ち合わせ後実施した。</p>
事務局	<p>事務局から</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教養講座について 2 調べる学習コンクール全国大会の結果について 3 子どもの読書活動に関するアンケート結果について
委員長	<p>意見、質問を求める。</p>
委員	<p>学童保育施設が多岐に渡っていて、長期休み時にどのように取り組むのか。何かあった時図書館に相談できるよう連携ができればと考えている。</p>

副委員長	<p>以前は市町村によっては、子ども会が中心となって地域で子どもを集めて読書をさせよう等、色々な活動が行われていた。坂戸市は子ども会がなくなり、PTAもなかなか難しい。PTAがなくなったところもある。以前とは違って、地域のコミュニティが薄れてきている。読書を推進したいが、色々な面で世の中の動きが難しくなっている。</p>
委員長	<p>ちいさい子のお話し会は盛り上がってとてもよい。こども図書館の進捗はどうか。</p>
事務局	<p>昨年12月、こども図書館の最終レイアウト案を担当の北坂戸まちづくり推進室へ提出したところである。</p> <p>こども図書館は令和10年4月に開館予定で、現在担当課で基本設計を行っている状況であり、その結果を踏まえ図書館としても検討していこうと考えている。</p>
委員長	<p>他になければ、これで議事を終了とする。</p>
副委員長	<p>副委員長挨拶</p>
事務局	<p>6 閉会</p> <p>※第4回の協議会は、3月27日（金）午後3時30分より開催予定</p>